

第4学年1組 社会科学習指導案

日時 令和3年11月30日(火) 3校時

指導者 教諭 松田 悠椰

場所 4年1組 教室

本授業のポイント

本授業は、小学校社会科副読本「わたしたちの佐賀県」に掲載されている佐賀県の偉人についてスライドを用いてまとめさせる活動を通して、郷土の発展に尽くした先人の働きや先人の思いについて考えさせる授業である（個別最適な学び）。まとめさせるにあたり、子どもたちに調べ、まとめたい先人を選ばせ、Web検索や、副読本などから取得した資料の取捨選択、資料の要約を行わせておく（個別最適な学び）。また、スライドを作成する手がかりとなるよう、教師が前時までに作成した児童のスライドデータを共有ドライブに複製、保存しておき、閲覧してよいことを伝える（協働的な学び）。

1 単元名 地いきの発てんにつくした人々（日本文教出版）

2 単元（題材）の目標

郷土の発展に尽くした先人について調べる活動を通して、先人らの具体的事例をとらえ、郷土の発展に尽くした先人の働きや郷土への思いについて考えることができる。

3 単元（題材）の全体計画（全13時間）

時	学習活動	評価の観点			1人1台端末の活用	
		知技	思考表	主体的	★協働的な学び ◆個別最適な学び	キーワード
1	郷土の発展に尽くした先人について知る。 ・鍋島 直正 ・島 義勇 ・山口 尚芳 ・佐野 常民	○		○	/	/
2						
3						
4						
5	スライドを用いてまとめるときの工夫について考える。	○	○	○	★	・Web検索 ・課題 ・スライド・Classroom
6	興味のある郷土の発展に尽くした先人を選択し、副読本や、Web検索で先人の働きについて調べる。	○		○	◆	・フォーム ・Web検索 ・マイドライブ ・スクリーンショット
7						
8						
9	必要な資料(写真)を選択し、スライドを用いて、郷土の発展に尽くした先人らの働きについてまとめ、先人らの思いを考える。	○	○	○	★ ◆	・Classroom ・課題 ・共有ドライブ ・スライド
10 (本時)						
11						
12						
13	自分がまとめた先人の働きや思いについて発表する。		○	○	★ ◆	・共有ドライブ ・スライド

4 本時の目標

郷土の発展に尽くした先人らの働きについてまとめる活動を通して、先人らの働きや、郷土への思いを考えることができる。

5 本時の展開（10／13時目）

学習活動	○教師の指導・支援 ★協働的な学び ◆個別最適な学び
1 前時をふりかえる。	<p>○先人らの資料は共有ドライブに保存されていることや、スライドデータの保存場所について確認する。</p> <p>○先人らの働きをまとめるだけでなく、郷土への思いについても考えていくことを振り返らせる。</p>
<p>佐賀県の発てんにつくした先人についてまとめ、郷土への思いを考えよう。</p>	
<p>2 郷土の発展に尽くした先人について調べたことをスライドにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍋島 直正 ・大隈 重信 ・佐野 常民 ・島 義勇 ・成富兵庫茂安 ・山口 尚芳 	<p>○まとめる視点を提示し、活動の見通しを立てさせる。</p> <p>○佐賀県の発展に尽くした先人を1人選ばせ、副読本「わたしたちの佐賀県」や、タブレット等を用いて調べた資料を基に、スライドでまとめさせる。</p> <p>◆共有ドライブに保存されている必要な資料の取捨選択をさせる。</p> <p>◆スライドを用いて、先人の働きや、思いについてまとめさせる。</p> <p>★活動の見通しがもてない児童には、共有ドライブに保存されているスライドデータを参照できることを伝える。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>スライドを用いて、先人の働きについてまとめたり、先人の郷土への思いを考えたりすることができる。</p> <p>A：先人らの思いについて考え、自分の言葉でまとめることができる。</p> <p>B：先人らの思いについて、資料の言葉を引用し、まとめることができる。</p> <p>→共有ドライブで、他の児童のスライドが閲覧できることを伝え、先人らの思いに迫れるように支援する。</p> </div>
3 学習を振り返る。	<p>○スライドは、データのコピーを作成させ、共有ドライブ内のフォルダーにデータを移動させるよう声かけを行う。</p> <p>○次時の見通しを立てさせ、本時を終える。</p>

備考

佐賀の偉人について

<https://www.sagabai.com/main/3765.html>

山口尚芳

<https://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/jinbutu/text/masuka.html>

6. 成果と課題

【成果】

- ・子どもたちが調べたい佐賀県の偉人を選択していた。また、偉人についての資料を共有ドライブに保存されていたため、資料の取捨選択や、共有ドライブにない資料を必要に応じて Web 検索をすることができていた。
- ・これまで、子どもたちがまとめてきたスライドを共有ドライブに残していたことで、他の子どもたちが参照しながらスライドを作成することができた。
- ・4年生になるとローマ字入力やタブレットの操作に慣れていった。特に、文字の色や大きさの変更や、スライドに画像に挿入する操作は手慣れていった。

【課題】

- ・タブレットを操作する場面と、そうでない場面をはっきりとしていなかった。タブレットの画面を見たり、操作したりしながら先生の話の話を聞いている児童がいるので、タブレットを閉じるなどの工夫が必要。
- ・板書を見た時に、スライドをまとめるための工夫についての手立てはあったが、社会科として手立てが見えない板書であった。板書計画の見直しが必要であった。
- ・社会科で使用する資料選びには、他の教科以上に留意しなければいけない。子どもたちが分からない言葉や読めない漢字などは、用語集などを子どもたちに配布するなどの工夫が必要。
- ・資料選びなど、教材準備の負担がやはり大きい。